

# 私たちのフィールド 技術

## ～群馬大学大型施設整備事業～ 「施設系」業務の魅力

施設系業務は地味に映るかもしれませんが、大学運営を支える大きな動力源です。そして今、群馬大学では持続可能な社会の一助になるべく、省エネや環境保全対策に力を入れ始めています。その実現には若い人のアイデアやセンスが必要になります。さまざまな施設といろいろな人たちに囲まれての仕事は挑戦しがいがあり、刺激的で人間的成長も促してくれます。関係者から“ありがとう”“使いやすくなった”という一言は心のオアシスになってくれますよ。



写真左から佐藤（友）氏、福島氏、佐藤（雄）氏

### 施設運営部

施設企画課 環境安全係 主任

佐藤 雄一

### 施設運営部

施設整備課 電気係 技術職員

佐藤 友美

### 施設運営部

施設整備課 機械係 技術職員

福島 真一

—群馬大学が近年行った大型施設整備事業のひとつに幼稚園の改築工事があります。

皆さんはどのように関わったのでしょうか？

**佐藤（友）**：幼稚園改築事業は、老朽化と安全面への配慮から平成 29 年から平成 30 年にかけて行われました。コンセプトは、木の温もりをいかした木造建築ながら ZEB（省エネや再生可能エネルギーを導入し、建物で消費する一次エネルギーをゼロにすることを目指した建物）を達成したこれまでにない斬新でユニークな幼稚園です。

**佐藤（雄）**：私のいる環境安全係では、キャンパス内の整備計画から建物の管理運営の一連の流れに関わる業務、省エネ対策に力を入れています。幼稚園の改築事業では、園児の協調性や好奇心を育てるような仕掛けと回遊性の高いオープンな環境になるように設計しました。

**佐藤(友)**：私のいる施設整備課電気係では、建物の電気に関わる配線や設計から管理までを行っています。この幼稚園には新たに高効率な省エネタイプの電気機器を導入しています。完成したあと園児たちの元気な声を聞くと、縁の下の力持ちになれていると実感できます。

**福島**：自分の仕事の跡が目に見える形で残っているというのはモチベーションに直結します。機械整備に関わる施設整備課機械係では、高効率の空調システムや高機能換気システムを設置するのはもちろん、水飲み場や洗面所などの園児が使用する設備の高さまでこだわりました。物づくりに携わりながら自己成長できるのもこの課の魅力ですね。



—大型施設整備事業のもう一つの目玉が、次世代モビリティ社会実装研究センターの新営です。

完全自動運転車両の技術開発と、その社会実現に向けた研究施設で、まさに近未来です。

**福島**：管制室や修理工場などを備えた2階建てで100m近い縦長の建物と、国内最大規模の専用試験路が整備されています。初めてずくめの毎日で、建築シミュレーションゲームのように新しい空間や環境ができる過程をそばで見られたのは心躍りました。

**佐藤(友)**：これまでの改修工事と違い、新営工事は仕事の進め方ややり方がまったく異なり、電気供給がないエリアにライフラインを延伸させる作業は苦心したものの刺激的でした。20名程度の部署なので、意見交換もしやすく、若手の意見やアイデアを吸い上げてくれるのはスモールコミュニティの良さだと思います。

**福島**：上司に相談すると図面を引いている手を止めて過去の事例を見せてくれます。職場は和やかな雰囲気だし、人材を育成する土壌がしっかり根付いている気がします。



**佐藤(雄)**：幼稚園の改築もそうですが、各部署が“情報が命”ということをしっかり理解して連携を取りながら仕事に臨んだからこそ、完成することができました。部署全体でも、自分の考えを持ち主体的に仕事に取り組める環境作りは意識しています。私は上司から“聖徳太子になれ”と口酸っぱく言われ、毎日耳が“ピクピク”動いていますよ。

—「施設系」業務は、教職員や教授、学生や園児が安心安全に過ごすために絶対に欠かせません。

そんな大学運営の土台を担う仕事の魅力ややりがいについて教えてください。

**福島**：私たちが働く職場には、大学、病院、小・中学校と用途の違う建物が詰まっています。それぞれ異なったニーズにチューニングするのは単純作業とはいきませんが、それが面白さでもあります。

**佐藤(友)**：キャンパス全体での電気の総供給量は決まっています。建物ごとの分配を考えるのは論理パズルを解いているみたいで知的好奇心をくすぐられます。修繕関係から大規模改修と業務も多岐にわたります。あとは電気の供給は止められないという責任感ですね。

**佐藤(雄)**：私たちに共通しているのは、年齢も職種も実にさまざまな人と接する仕事だということです。多様な価値観の吸入になるし、アイデアの源泉にもなります。これは技術職員ならではです。

